

古くて新しい魅力たっぷり

はぜ

櫨の世界へようこそ！

櫨の木とは

櫨の木はウルシ科の落葉高木です。葡萄の房のような美をつけ、毎年、晚秋になると、非常に鮮やかで美しい紅葉が九州の山野を彩ります。

日本の伝統産業

櫨の実を搾った櫨油は、貴重な天然油脂、特に和ろうそくの原料になるため、江戸時代中期より藩の奨励作物として、いたるところに植えられました。

明治年間の実の生産量は約1億5千万斤（9万トン）。九州は全国でも櫨の主産地であり、激動の幕末～明治維新を資金面で支えた一大産業でした。

日本の蜩・櫨蜩

櫨蜩は他の蜩に見られない粘着性を

持っています。

これは独特の脂肪酸成分である日本酸（Japan Acid）を含んでいます。そのため、海外ではJapan Wax、櫨の木はJapan Wax Treeと呼ばれます。



櫨の商品は櫨マケしない

櫨といえど「櫨マケ（かぶれ）」。その原因は生の樹液に含まれるアレルギー成分「ラッコール」ですが、空気（酸素）と熱に弱く、熱で抽出した櫨蜩の段階で消えています。例えば和ろうそくを灯してもかぶれることはありません。

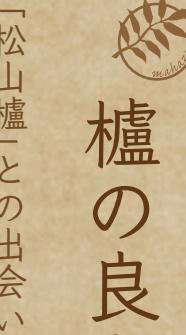


福岡県久留米市柳坂曾根の櫨並木。

松山櫨復活委員会の活動

松山櫨復活委員会
代表 矢野 真由美

櫨の良さを知ると変わる



「松山櫨」との出会い

私が生まれ育った福岡県久留米市は全国でも有数の植木苗木の生産地です。

たまたま久留米市の植木の歴史を調べると、櫨の最高品種である「松山櫨」が地元で発見されて広まつたことで植木苗木の里になつたことを知りました。

激減する櫨への危機感

しかしさらに調べると、現在の櫨産業は生産量は100トン程度と激減。松山櫨の販売も生産されていないばかりか、そ

もそも木が次々に伐採され、激減していることを知り、このままでは櫨がなくなってしまうのはと、強い危機感を感じました。

櫨なんか、なくなつた方がいいと言いつ放つた人も

平成19年、私は松山櫨復活委員会を立ち上げ、微力ながら振興活動を始めたのですが、当初は櫨マケのせいで櫨を嫌う人からは「櫨なんか必要ないし、なくなつた方がいい」と面と向かって言わされた事もあり、櫨を応援したり、新たに櫨を植栽する困難さに直面しました。

櫨ならではの珠玉の逸品

私は新たな視点から櫨ならではの商品開発に取り組みました。いずれも櫨の魅力たっぷりの、他にない商品ばかりです。これらの商品の利益によつて、櫨の振興活動は今も続けられています。

櫨の魅力を知ると変わる



松山櫨



櫨染体験

和ろうそく芯作り実演



和ろうそく芯作り実演



櫨の実ちぎり体験

櫨の接ぎ木

